



## 汽水域研究センター活動報告

### 活動日誌

#### 1994年(平成6年)

3月29日 人工衛星を利用した汽水域環境監視システム設置祝賀会。

5月31日 島根大学汽水域研究センター特別報告第1号『マッドランプ—中海、飯梨川河口—』発行。



6月3日 第7回汽水域研究懇談会

竹広文明助手が『中海・宍道湖形成期の生業活動—鹿島町佐太講武貝塚の発掘調査—』について話題提供。参加者16名(内学外者2名)。



写真1. 第7回懇談会で話題提供する竹広文明助手(1994年6月13日)。

6月8日 第1回汽水域の考古学と自然科学ゼミナール

出雲市教育委員会・川上 稔氏、島根県教育委員会・西尾克己氏、島根大学理学部大学院生・中村唯史氏が『出雲平野—歴史と自然—』について話題提供。参加者16名(内学外者10名)。

7月18日 第8回汽水域研究懇談会

島根大学農学部教授・平塚貴彦氏、同農学部教授・北川 泉氏、徳岡隆夫センター長が『本庄工区

を考える—汽水域の環境保全と望ましい近未来の土地利用—』について話題提供。参加者37名(内学外者10名)。(NEWSLETTER 第4号に記事)

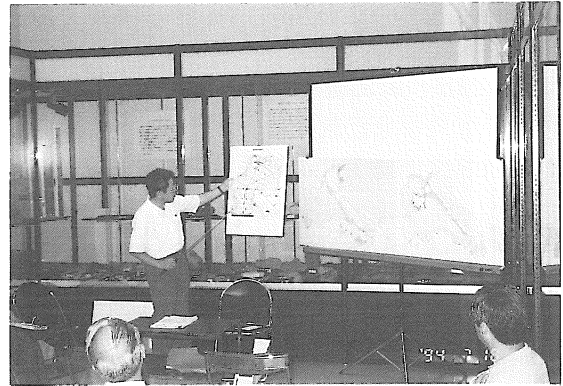


写真2. 第8回懇談会で話題提供する徳岡隆夫センター長(1994年7月18日)。

8月11日、12日 公開講座『楽しい水辺教室—神西湖の自然—』を実施。小学校高学年、中学生を対象として、地元漁業共同組合の応援を得て船上での実習も織り混ぜた講座となり、高安克己教授、國井秀伸助教など、6名のセンター教官・研究員・客員研究員が担当した。23名が受講。

(NEWSLETTER 第4号に記事)

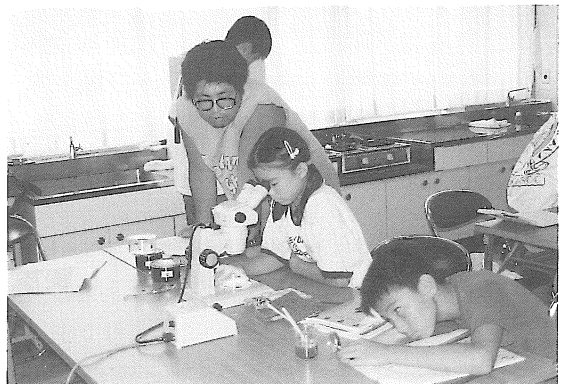


写真3,4 公開講座『楽しい水辺教室—神西湖の自然—』で学習する子供たち(1994年8月11日、12日)。

10月20日 第9回汽水域研究懇談会

鳥根大学法文学部教授・富野暉一郎氏が『地方行政と環境問題』について話題提供参加者20名(内学外者3名)。

10月 NEWSLETTER 第4号発行。

11月19日～23日 公開講座『佐陀川—むかしむかし—』を実施。高安克己教授による「佐陀川ウォッチング」、竹広文明助手による「中海・宍道湖沿岸の縄文時代—佐太講武貝塚をめぐって—」など、5名のセンター教官・研究員・客員研究員が講演した。40名が受講。



写真5. 公開講座『佐陀川—むかしむかし—』で開講の挨拶をする徳岡隆夫センター長(1994年11月19日)。

11月30日 北東アジアシリーズ '94『古代北東アジアの文化交流』に参加(於、鳥根県民会館)

## 1995年(平成7年)

1月11日 第2回山陰地域研究・汽水域研究発表会  
延べ43名参加のもとで20題の研究が発表された。  
夕刻より第10回汽水域研究懇談会。

鳥根大学名誉教授・伊達善夫氏、同農学部教授・森 忠洋氏、同法文学部教授・藤岡光夫氏、同理学部講師・三瓶良和氏、徳岡隆夫センター長が『続・本庄工区を考える—宍道湖・中海水質予測中間報告書を読む—』について話題提供参加者32名(内学外者14名)。

2月4日 鳥取大学・鳥根大学合同シンポジウム『山陰地方の現状と課題—沿岸湖沼の自然と活用(湖山池の場合)—』を 鳥取大学地域共同研究センターとともに鳥根大学汽水域研究センターが主催。参加者150名(一般市民を含む)。(於、鳥取県民文化会館)

2月15日 鳥根大学埋蔵文化財調査研究センター研

究発表会『山陰汽水域の低湿地遺跡をめぐって—鳥根大学構内遺跡の発掘調査成果を中心として—』を汽水域研究センターが協賛



写真6. 第10回懇談会で話題提供する藤岡光夫・鳥根大学法文学部教授(1995年1月11日)。



写真7. 第10回懇談会での意見交換(1995年1月11日)。

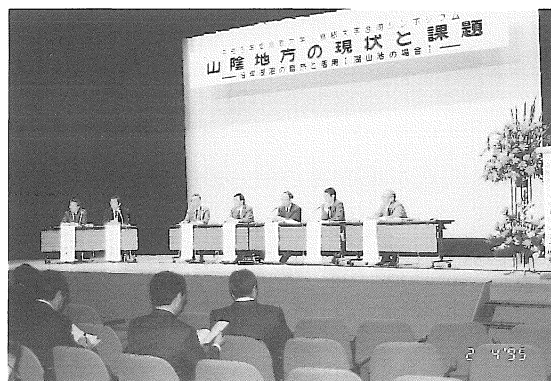


写真8. 鳥根大学・鳥取大学合同シンポジウムでのパネルディスカッション(1995年2月4日)。

## 文部省科学研究費の交付

### 平成5年度科学研究費補助金

一般研究(B)「水辺の景観と水質浄化機能および生物多様性の因果関係の解明」(研究代表者:國井秀伸)  
 試験研究(B)「汽水域の塩水楔およびヘドロ層の音波探査法の開発」(研究代表者:徳岡隆夫)

### 平成6年度科学研究費補助金

一般研究(B)「水辺の景観と水質浄化機能および生物多様性の因果関係の解明」(継続,研究代表者:國井秀伸)  
 奨励研究(A)「石器時代におけるサヌカイト原材獲得方法の研究」(研究代表者:竹広文明)  
 試験研究(B)「音響トモグラフィーを利用した汽水域塩分躍層の動態観測システムの開発」(研究代表者:徳岡隆夫)

## 地方公共団体、民間企業との 共同研究

### 1992年(平成4年度)

島根県「斐伊川放水路関連漁場環境現況調査」(研究担当者:徳岡隆夫,高安克己,國井秀伸)  
 島根県教育委員会「朝酌川改修に伴う発掘調査ほか島根県内遺跡発掘調査の調査指導」(研究担当者:徳岡隆夫,高安克己)

### 1993年(平成5年度)

島根県古代文化センター「風土記調査」(研究担当者:高安克己)  
 島根県教育委員会「斐伊川放水路予定地内埋蔵文化財調査に伴う調査指導」(研究担当者:徳岡隆夫,高安克己,竹広文明)  
 島根県教育委員会「朝酌川改修に伴う発掘調査ほか島根県内遺跡発掘調査の調査指導」(研究担当者:徳岡隆夫,高安克己,竹広文明)

島根県「斐伊川放水路関連漁場環境現況調査」(継続,研究担当者:徳岡隆夫,高安克己,國井秀伸)

島根県水産試験場「飯梨川・山佐川(広瀬町)現況調査」(研究担当者:國井秀伸)

島根県鹿島町教育委員会「鹿島町国史跡佐太講武貝塚の発掘調査および出土資料の研究」(研究担当者:竹広文明)

### 1994年(平成6年度)

総合科学(株)「沿岸低地古環境変遷に関する年代学的研究」(研究担当者:高安克己)

島根県教育委員会「朝酌川改修に伴う発掘調査ほか島根県内遺跡発掘調査の調査指導」(研究担当者:徳岡隆夫,高安克己,竹広文明)

島根県古代文化センター「風土記調査」(継続,研究担当者:高安克己)

通商産業省工業技術院地質調査所「富栄養化湖沼における食物連鎖を利用した水質浄化技術に関する研究」(研究担当者:國井秀伸)

松江市「松江堀川の水質等自然環境変化と生態系の動向」(研究代表者:國井秀伸)

島根県鹿島町教育委員会「鹿島町国史跡佐太講武貝塚出土資料の研究」(研究担当者:竹広文明)

# 平成6年度 汽水域研究センター研究員・客員研究員

## 汽水域研究センター研究員一覧表

(平成7年2月1日現在)

### 法文学部 (研究員 8名)

職名	氏名	研究課題
教授	喜多村 正	出雲地域における民俗と地域性
〃	岡崎 勝彦	地方自治行政と法的諸問題
〃	蘆田 耕一	神社奉納和歌集の研究
〃	鬼頭 宏一	湖沼水質保全条例をめぐる問題
〃	水内 透	森 鷗外研究
助教授	竹永 三男	近代における宍道湖・中海周辺地域の政治・経済と社会
講師	田中 則雄	山陰地方藩政時代における文学・思想
助手	會下 和宏	山陰低質地道跡の研究

### 教育学部 (研究員 4名)

職名	氏名	研究課題
教授	坂本 一光	自然環境教育において水を主題とする意義
〃	三保 忠夫	「島根県内農具図解」の研究
〃	銭本 健二	ラフカディオ・ハーン研究
助教授	大谷 修司	宍道湖・中海の藻類プランクトンの分類学的研究

### 理学部 (研究員 11名)

職名	氏名	研究課題
教授	宮田 逸夫	山陰地方の植生
〃	大西 郁夫	中海・宍道湖周辺の環境変遷
助教授	高須 晃	汽水域基盤構成岩石の研究
〃	梶村 光男	日本海南西部に於ける海藻の分類学的ならびに生物地理学的研究
〃	小室 裕明	汽水域周辺の火山活動
講師	小池 文人	宍道湖汽水域周辺のランドスケープについて
〃	杵村 喜則	山陰地方の植生と植物相についての研究
〃	三瓶 良和	中海・宍道湖の環境変遷に関する研究

### 理学部

職名	氏名	研究課題
助手	中山 勝博	汽水湖に流入する河川の堆積過程及びその堆積物の層序
〃	瀬戸 浩二	宍道湖・中海における底生有孔虫の研究
〃	高嶋 育雄	河川・汽水域における魚類行動

### 農学部 (研究員 11名)

職名	氏名	研究課題
助教授	渡部 晴基	農山村過疎地域における地域産業複合化に関する研究
〃	新村 義昭	山地小流域における森林水文条件の研究
〃	金子 信博	土壌生態系における種間相互作用
〃	猪股 趣	農産物の生産と流通に関する研究
講師	佐藤 利夫	ヨシ原の浄化機能に関する研究
〃	宇津田 嘉弘	汽水域における野鳥等の生息実態とその特性について
〃	武田 育郎	集水域における水質水環境
〃	藤居 良夫	山陰地域における環境の予測と評価に関する研究
助手	稲田 充男	島根県における森林資源に関する研究
〃	大森 賢一	地域経済のモデル化とシュミレーション
〃	星川 和夫	水生昆虫の塩分耐性

任期：平成8年3月31日まで